

地域観光産業の基盤強化・事業革新に関する提言
(2023年(令和5年)7月)に基づく
「観光バリューチェーンにおける交通のあり方検討委員会」
とりまとめ

<公共交通サービスの水準が観光地の選択に与える影響>

2025年9月
運輸総合研究所

<目次>

1. 検討目的	P.2
2. 本検討における観光交通の概念	P.3
3. リサーチクエスチョン・仮説	P.4
4. 検討手法	P.5
5. 事例調査(青森県・島根県)	P.7
6. 検討結果・考察	P.23

1. 検討目的

「公共交通サービスの水準が観光地選択に与える影響の検討」の実施

- 地域観光産業を高生産性で高所得産業とするためには、観光需要を確実に取り込む等観光需要に確実・的確に対応することが必要であり、とりまとめ本体Ⅰ.のとおりに、地域観光産業の基盤強化・事業革新においては、地域観光交通のあり方が重要な課題である。
- 当該事実について、本編において、観光施設までの地域交通サービスの運行頻度等の水準が、観光施設の実績利用者数に影響を与えているということを、データを用いて示すことで、地域交通サービスの水準が、観光客による観光地の選択に影響を与えている事実について、地域の事例調査・研究により、検討するものである。

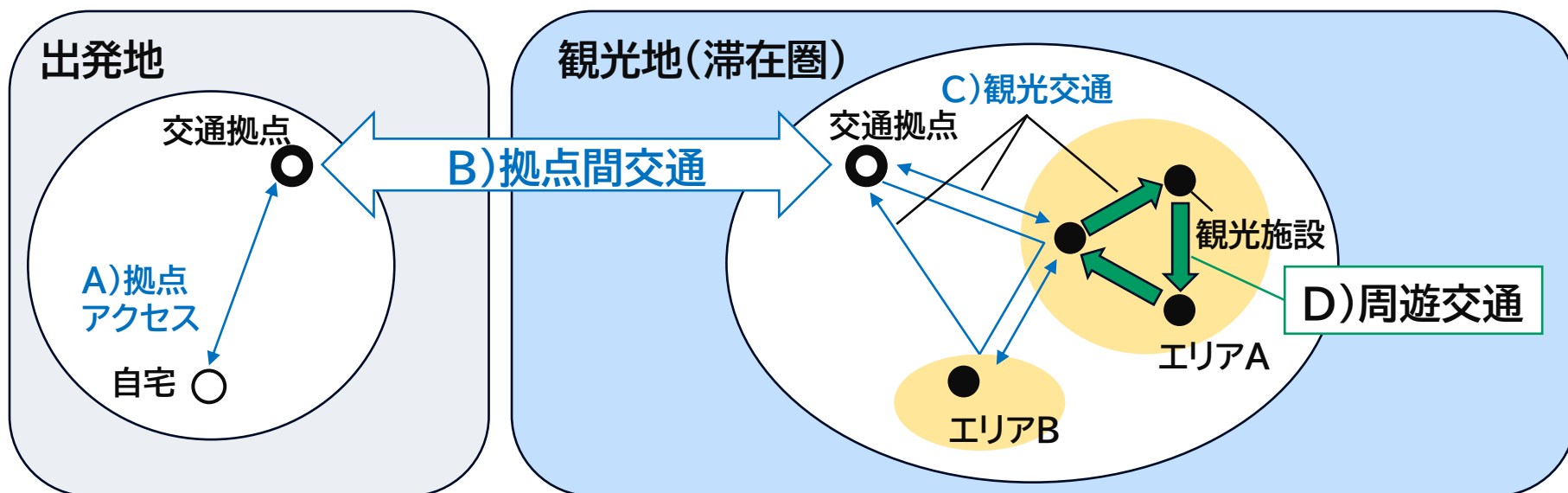
【留意事項】

- ・本検討は限られたデータによるものであり、それに基づく考察であることに留意。

2. 本検討における観光交通の概念

- A) 拠点アクセス: 出発地での、自宅から出発地における交通拠点までの移動
- B) 拠点間交通: 出発地における交通拠点から観光地のゲートとなる交通拠点までの移動
- C) 観光交通: 観光地の交通拠点から観光施設、または観光施設が所在するエリアへの移動、及び同一エリア内の観光施設間を周遊するための移動
- D) 周遊交通: C)観光交通のうち、各エリア内の観光施設間を周遊するための移動

本検討では、D)周遊交通に着目する。



A, C: バス/鉄道/自動車/自転車/徒歩等

B: 新幹線/航空/高速バス等

D: バス/鉄道/自転車/徒歩等

出典)観光と地域交通に関する研究会 報告書(令和2年7月、運輸総合研究所)を基に作成

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

3. リサーチクエスチョン・仮説

【リサーチクエスチョン】

観光施設間の公共交通サービスのレベルは、観光客による観光地の選択に影響を与えているのか？



【仮説】

同一エリア内の観光施設が併せて選択されにくいエリアでは、公共交通による観光施設間の周遊性が低い。



【対応】

潜在的な観光ニーズとは別に、「観光施設間の公共交通サービスのレベル」が、観光施設の実績利用者数に影響を与えていることをデータを用いて示す。

本検討における「観光ニーズが高い観光施設」

経路検索サービス『NAVITIME』等を提供するナビタイムジャパンのデータ『都道府県別 観光スポットランキング』に示された観光施設。

2023年『都道府県別 観光スポットランキング』

- 集計期間: 2023年1月1日(日)から2023年10月31日(火)
- 集計対象: 『NAVITIME』(アプリ・サイト)など、ナビタイムジャパンの提供する国内向けの全サービスでの検索データ
- 独自取材で得た「観光ガイド」情報を掲載しているスポットを対象に集計。
※自動車での移動を想定したユーザ・地域住民も利用している点、国内旅行者を対象とした分析となる点に留意。

マルチモーダルな経路検索データを基に、
観光施設を対象に集計されたランキング

さまざまな交通手段に対応した経路検索サービスにて、検索が多く行われた観光地は、
ユーザが公共交通のアクセスの良し悪しを確認する前の段階で、潜在的に行きたいと
思い検索している観光地と考える。

検討フロー

(1) 観光ニーズが高い観光施設のランキングと実績の利用者数ランキングを比較

検索ランキング

➡ナビタイムジャパン『都道府県別 観光スポットランキング』(P4で説明)を使用する。

実績ランキング

➡都道府県 観光統計における観光施設毎の観光入込客数(※1)の実績ランキングを使用する。
なお、検討ではナビタイムジャパン『都道府県別 観光スポットランキング』と観光統計の両方からデータが取得可能な観光施設を対象とした。(※2)

➡青森県の28の観光施設、島根県の20の観光施設を対象として検討した。

(※1)「観光入込客統計に関する共通基準」では、観光地点の特性により入込数をカウントする方法を示している。例えば、入場が有料の場合はチケット発売数から、山岳や河川など自然系のエリアで、アクセス経路が限定される場合には、過交通量とその内訳(日常/非日常等)から推計する方法が示されている。

(※2)例えば、ナビタイムランキングに掲載の「弘前城天守」は、観光統計で天守への入場者数(有料券の購入者数)が観光入込客数として集計されているため対象とした。一方、「弘前公園」はナビタイムランキングに掲載されているが、観光統計では観光入込客数の数字がないため対象外とした。

(2) 事例調査(青森県・島根県)

同一エリア内の観光施設間の公共交通のアクセス状況(所要時間、運賃、運行頻度等)と

(1)のランキングの傾向を確認する。※季節性がある路線は、運休期間を除く期間の運行情報を確認。

(3) 考察・仮説の検討

(2)の結果をもとに、仮説の検討を行う。

【仮説】同一エリア内の観光施設が併せて選択されにくいエリアでは、公共交通による観光施設間の周遊性が低い。

5. 事例調査(青森県・島根県)

【青森県】観光ニーズの高い観光施設

- ・青森県の28の観光施設を対象とした。
- ・東青エリア、西北エリア、中南エリア、下北エリア、三八エリア、上北エリアに分類。
- ・同一エリア内における観光施設間の公共交通アクセス状況を調査する。

東青エリア

- 青函トンネル記念館
- 龍飛崎
- 青森県観光物産館アスパム
- ねぶたの家 ワ・ラッセ
- 浅虫温泉
- 青森県営浅虫水族館
- 八甲田ロープウェー
- 三内丸山遺跡
- 青森県立美術館

下北エリア

- 尻屋埼灯台
- 恐山菩提寺
- 大間崎
- 佐井港（仏ヶ浦観光船）

上北エリア

- 青森県立三沢航空科学館
- 十和田市現代美術館
- 奥入瀬溪流館
- 十和田湖遊覧船

中南エリア

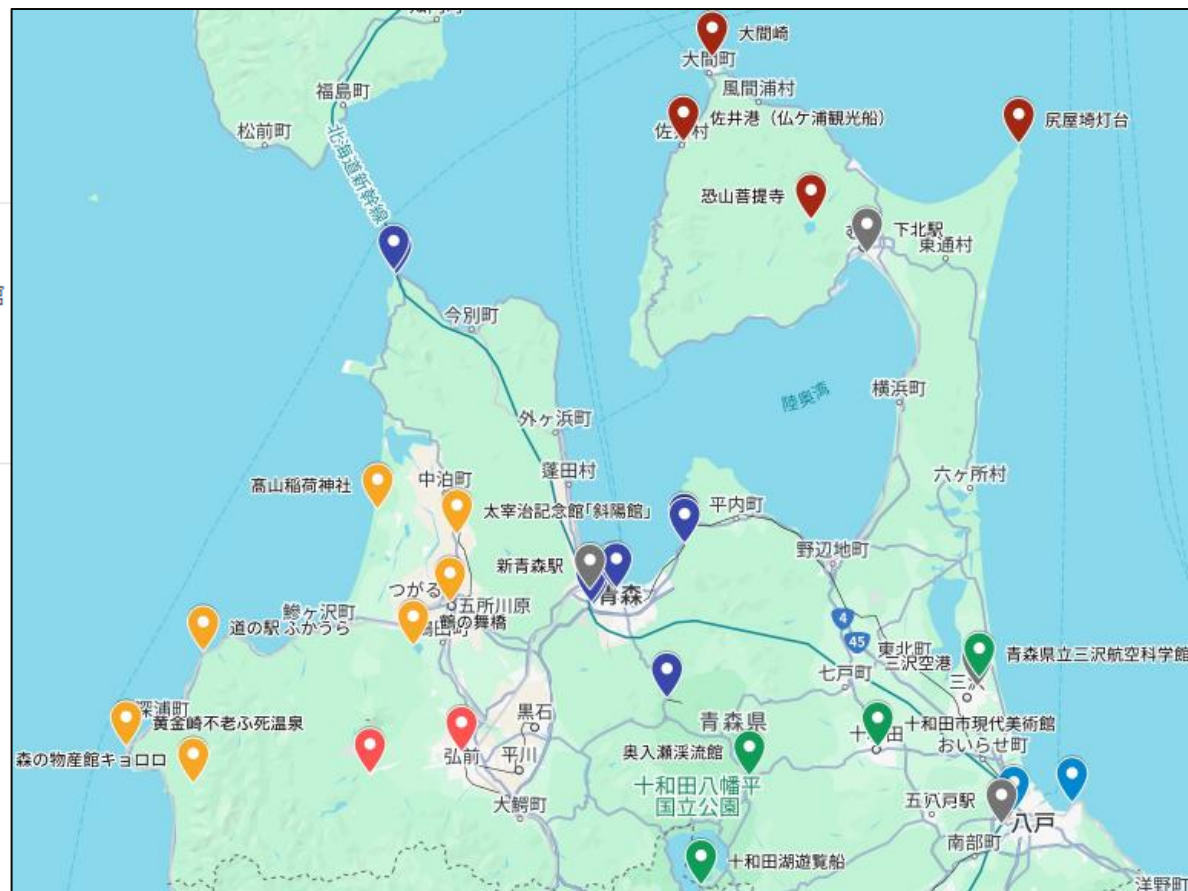
- 弘前城
- 白神山地ビジターセンター

三八エリア

- 八食センター
- 蕪嶋神社

西北エリア

- 高山稲荷神社
- 立佞武多の館
- 太宰治記念館「斜陽館」
- 道の駅 ふかうら
- 森の物産館キヨロロ
- 黄金崎不老ふ死温泉
- 鶴の舞橋

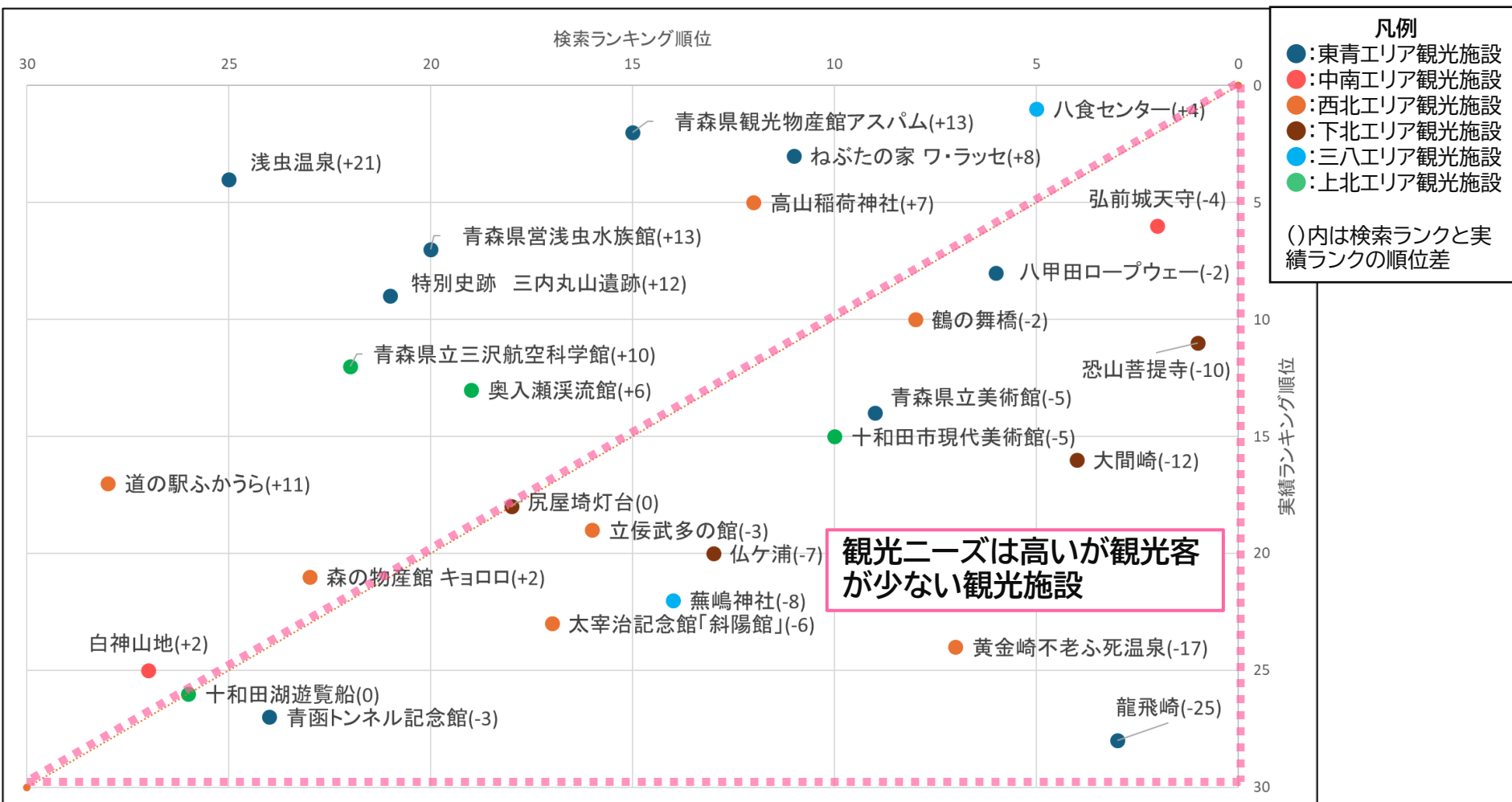


観光ニーズの高い観光施設(青森県) ©Google

5. 事例調査(青森県・島根県)

【青森県】各観光施設における検索ランクと実績ランクをプロットした散布図

- ・横軸を検索ランキング順位、縦軸を実績ランキング順位として、各観光施設をプロット。
- ・グラフ45度線より下に分布しているのは、観光ニーズは高いが観光客が少ない施設。



検索ランクと実績ランクの関係(青森県)

5. 事例調査(青森県・島根県)

【島根県】観光ニーズの高い観光施設

- ・島根県の20の観光施設を対象とした。
- ・出雲エリア、松江エリア、大田エリア、安来エリア、浜田エリア、益田エリアに分類。
- ・同一エリア内における観光施設間の公共交通アクセス状況を調査する。

出雲エリア

- 出雲大社
- 出雲日御碕灯台
- 島根ワイナリー
- 古代出雲歴史博物館
- 須佐神社(須佐大宮)
- 宍道湖グリーンパーク

安来エリア

- 足立美術館
- 月山富田城跡

浜田エリア

- しまね海洋館 アクアス

益田エリア

- 太鼓谷稲成神社

松江エリア

- 松江城
- 美保神社
- 八重垣神社
- 島根県立美術館
- 松江フォーゲルパーク
- 玉造温泉ゆ〜ゆ
- 熊野大社
- 小泉八雲記念館

大田エリア

- 仁摩サンドミュージアム
- 石見銀山 世界遺産センター

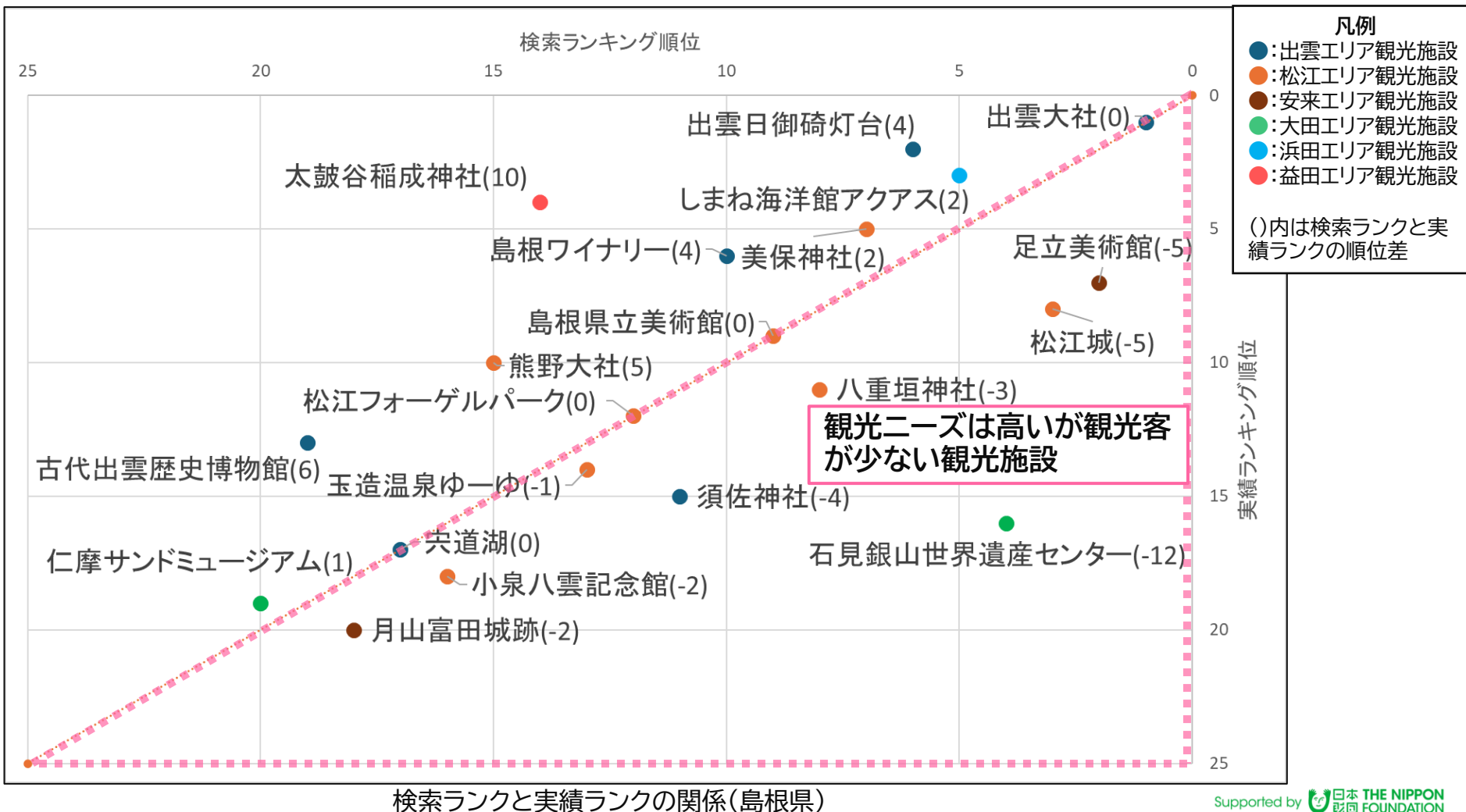


観光ニーズの高い観光施設(島根県) ©Google

5. 事例調査(青森県・島根県)

【島根県】各観光施設における検索ランクと実績ランクをプロットした散布図

- ・横軸を検索ランキング順位、縦軸を実績ランキング順位として、各観光施設をプロット。
- ・グラフ45度線より右下に分布しているのは、観光ニーズは高いが観光客が少ない施設。



検索ランキングと実績ランキングの相違(青森県 東青エリア)

- ・龍飛崎、青函トンネル記念館は、交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準の低さが、順位差がマイナスとなった要因と考えられる。
 - ・三内丸山遺跡、物産館アスパム等は、交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が高いことが、順位差がプラスとなった要因と考えられる。
 - ・青森県立美術館は順位差がマイナスとなっているが、当施設は展示会の内容により入込数の増減が大きく、交通サービス水準が影響しているとは言えない。(※)
 - ・浅虫水族館等は、新青森駅からのアクセス性が高く、宿泊施設があることが、順位差がプラスとなる要因の一部になっている。(※)
- ※ヒアリングより

【東青エリア】 ※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
龍飛崎	崎/岬	3	28	△25	8,513	新青森駅	90	奥津軽いまべつ駅より定時乗合タクシー1日4往復(約2時間毎)
青森県立美術館	美術館	9	14	△5	135,064	新青森駅	10	シャトルバス1日8往復(1時間毎)
青函トンネル記念館	記念館	24	27	△3	18,862	新青森駅	90	奥津軽いまべつ駅より定時乗合タクシー1日4往復(約2時間毎)
八甲田ロープウェー	その他の乗り物	6	8	△2	200,552	新青森駅	60	バス1日1往復(青森駅から3往復・1-5時間毎)※夏季
ねぶたの家ワ・ラッセ	博物館/科学館	11	3	+8	359,798	新青森駅	10	青森駅前徒歩1分→3分
特別史跡 三内丸山遺跡	その他の史跡/建造物	21	9	+12	185,572	新青森駅	10	シャトルバス1日8往復(1時間毎)
青森県営 浅虫水族館	水族館	20	7	+13	235,487	新青森駅	50	浅虫温泉駅徒歩10分、鉄道約1時間毎、他バス1日2往復あり
青森県観光物産館 アスパム	展望塔/タワー	15	2	+13	864,609	新青森駅	15	青森駅前徒歩8分
浅虫温泉	温泉/温泉浴場	25	4	+21	260,889	新青森駅	40	浅虫温泉駅前、鉄道約1時間毎、他バス1日2往復あり

5. 事例調査(青森県・島根県)

検索ランキングと実績ランキングの相違(青森県 西北エリア・中南エリア)

- ・西北エリアは、交通拠点からのアクセス性の低さより順位差がマイナスとなっている施設が多い。アクセス性は低いものの、順位差がプラスとなっている施設については、カーナビ検索を利用して訪れる人が多い施設や、外国人観光客からの人気が高い施設である可能性が考えられる。
- ・中南エリアの弘前城天守の観光入込客数は有料券の販売数であり、無料で入場可能な弘前公園の人数は集計されていない(※)ため、順位差がマイナスとなったと考えられる。※ヒアリングより

【西北エリア】

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
黄金崎不老心死温泉	温泉/温泉浴場	7	24	△17	36,255	新青森駅	180	ウェスパ椿山駅より送迎、1日8往復(約2時間毎)
太宰治記念館「斜陽館」	記念館	17	23	△6	41,703	新青森駅	90	金木駅より徒歩7分、鉄道1日12往復(約1時間毎)
立佞武多の館	博物館/科学館	16	19	△3	71,993	新青森駅	60	五所川原駅徒歩5分、鉄道1日12往復(1-2時間毎)
鶴の舞橋	橋	8	10	△2	175,578	新青森駅	70	陸奥鶴田駅よりタクシー10分、鉄道1日12往復(1-2時間毎)
森の物産館 キョロ口	お土産	23	21	+2	62,754	大館能代空港	180	東能代駅より鉄道1日7往復(約2時間毎)、十二湖駅徒歩20分
高山稲荷神社	神社	12	5	+7	245,000	新青森駅	170	五所川原駅よりバス1日往6便復3便(2-6時間毎)+徒歩50分
道の駅ふかうら かそせいか焼き村	道の駅	28	17	+11	97,553	新青森駅	160	風合瀬駅徒歩20分、鉄道1日5往復(2-5時間毎)

【中南エリア】

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
弘前城天守	城/城址	2	6	△4	238,041	新青森駅	60	弘前駅より100円循環バス(10分毎)他多数
白神山地	山	27	25	+2	29,424	新青森駅	110	弘前駅よりバス1日8往復(30分-2時間毎)

検索ランキングと実績ランキングの相違(青森県 下北エリア)

・下北エリアの観光施設について、交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準の低さが、順位差がマイナスとなった要因と考えられる。

【下北エリア】

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
大間崎	崎/岬	4	17	△13	106,535	八戸駅	210	下北駅よりバス1日5往復(約1時間半毎)、函館行きフェリー有
恐山菩提寺	寺院	1	11	△10	152,313	八戸駅	150	下北駅よりバス1日4往復(約2時間毎)
仏ヶ浦	崎/岬	13	20	△7	64,295	八戸駅	180	下北駅より佐井港までバス1日5往復(約1時間半毎)+遊覧船
尻屋埼灯台	灯台	18	18	0	78,800	八戸駅	180	旧むつバスターミナルから乗合タクシー1日3往復(2-3時間毎)

5. 事例調査(青森県・島根県)

検索ランキングと実績ランキングの相違(青森県 三八エリア・上北エリア)

- ・交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が低く、順位差がマイナスとなっている観光施設がある一方で、アクセス性や周遊交通のサービス水準が高く、順位差がプラスとなっている観光施設もみられる。
 - ・蕪嶋神社の観光入込客数は、蕪嶋神社の手前に位置する「蕪嶋休憩所」に入った人数を集計している(※)ため、実際の利用者数が正確に反映されていない可能性があり、その結果、順位差がマイナスとなったと考えられる。
 - ・奥入瀬溪流館は、路線バスの本数は限られているものの、観光周遊バスが運行されていることに加え、レンタカーによる訪問が多い(※)ことから、順位差がプラスとなったと考えられる。
- ※ヒアリングより

【三八エリア】 ※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
蕪嶋神社	神社	14	22	△8	60,413	八戸駅	35	鮫駅より100円バス1日7往復(約1時間毎)または徒歩15分
八食センター	市場	5	1	+4	2,101,514	八戸駅	12	100円シャトルバス1日10往復(約1時間毎)

【上北エリア】

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
十和田市現代美術館	美術館	10	15	△5	128,925	八戸駅	60	バス1日3往復、他JRバス1往復、五戸コミバス乗継4往復
十和田湖遊覧船	遊覧船/水中観光船	26	26	0	26,501	八戸駅	140	バス1日2往復
奥入瀬溪流館	博物館/科学館	19	13	+6	136,130	八戸駅	100	バス1日2往復、弘前発の観光周遊バスあり
青森県立三沢航空科学館	博物館/科学館	22	12	+10	146,092	三沢空港	10	三沢空港より土日無料巡回バス1日4往復、徒歩なら50分

検索ランキングと実績ランキングの相違(島根県 出雲エリア)

- ・交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が高いことが、順位差がプラスとなっている観光施設が多い。
 - ・出雲日御碕灯台は、出雲大社を訪れた観光客が、レンタカー・自家用車を利用して立ち寄ることが多いこと、旅行会社が提供する観光バスツアーの旅程に出雲大社とともに組み込まれていることが、順位差がプラスとなった要因と考えられる。(※)
 - ・古代出雲歴史博物館は、出雲大社に参拝しても博物館まで足を延ばす観光客が立地条件のわりに少ない状況にある。近年、出雲大社前の神門通りがにぎわいを見せており、限られた滞在時間がそちらに割かれていると考えられる。(※)
- ※ヒアリングより

【出雲エリア】

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
須佐神社	神社	11	15	△4	89,750	出雲市駅	54	出雲市駅よりバス3本/日
出雲大社	神社	1	1	0	6,159,000	出雲市駅	45	電鉄出雲市駅より鉄道(約1時間毎)
宍道湖	湖沼	17	17	0	48,809	出雲市駅	47	出雲市駅より鉄道(約1時間毎)
出雲日御碕灯台	灯台	6	2	+4	918,610	出雲市駅	121	出雲大社バスターミナルよりバス3本/日
島根ワイナリー	ワイナリー/ ブルワリー	10	6	+4	325,097	出雲市駅	41	電鉄出雲市駅より鉄道(約1時間毎)
古代出雲歴史博物館	博物館/科学館	19	13	+6	131,109	出雲市駅	40	出雲市駅より鉄道(約1時間毎)

検索ランキングと実績ランキングの相違(島根県 安来エリア・大田エリア)

- ・交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が低く、順位差がマイナスとなっている観光施設がみられる。
 - ・足立美術館は順位差はマイナスとなっているが、その観光入込客数は有料施設の入場者数としては多いと考えられる。(※)
 - ・月山富田城跡は景観、歴史的な背景など魅力はあるものの、時間と体力が必要なスポットであることが、入込客数が少なくなっている要因と考えられる。(※)
 - ・石見銀山世界遺産センターと仁摩サンドミュージアムは、それぞれ客層が異なるため、両方を訪れる観光客は多くはないと考えられる。(※)
- ※ヒアリングより

【安来エリア】

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
足立美術館	美術館	2	7	△5	294,149	松江駅	52	松江駅から鉄道(約1時間毎)→安来駅からバス(約1時間毎)他美術館シャトルバス有り。
月山富田城跡	城/城址	18	20	△2	17,868	松江駅	65	バス停から徒歩約20分

【大田エリア】

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
石見銀山世界遺産センター	博物館/科学館	4	16	△12	61,640	JR出雲市駅	64	出雲市駅より鉄道→大田市駅よりバス(約1時間毎)
仁摩サンドミュージアム	博物館/科学館	20	19	+1	29,655	JR出雲市駅	61	出雲市駅より鉄道(1時間毎)

5. 事例調査(青森県・島根県)

検索ランキングと実績ランキングの相違(島根県 松江エリア)

・交通拠点や近隣観光施設からのアクセス性が低く、順位差がマイナスとなっている観光施設、アクセス性が高く順位差がプラスになっている観光施設がある。

・「松江城」については、アクセス性は低くないと考えられるところ、以下の表に示された順位差が生じている原因について、現地調査を行った結果、以下のとおりと推察できる。

⇒現地調査の結果、松江城天守の登閣者及び天守に登閣しないが天守の写真撮影等のみで本丸エリア等に入域する観光客が一定割合(調査時:約20～26%)存在しており、検索の松江城は、松江城天守、本丸エリア等含む松江城公園を目的とするものと考えられる。

⇒松江城天守の登閣には有料券が必要である一方、松江城天守が位置する本丸エリア等を含む松江城山公園は無料で入場が可能であるため、「松江城」の観光入込客数は天守の登閣者数のみをカウントしたものであり、検索目的である上記松江城公園の入込客数より相当程度小さくなるというズレが生じていることが現地調査より、推察できる。

⇒これらから、本調査による検討に当たっては、検索ランキングの観光施設と観光入込客数がカウントされる観光施設との間に包含関係がある場合もあり相違が存在することに留意が必要である。(P5の3. (1)(※2)の「弘前城天守」と「弘前城公園」のように区別されている場合は本調査の検討の妥当性が推察できる。)

・美保神社はレンタカー・自家用者利用が多い。小泉八雲記念館は、知名度がまだまだ低く、松江城とセットで小泉八雲記念館を訪れる観光客は少ない(ヒアリングより)

【松江エリア】

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
松江城	歴史的建造物	3	8	△5	275,198	松江駅	21	松江駅からバス(1時間に数本)
八重垣神社	神社	8	11	△3	194,373	松江駅	27	松江駅からバス(約1時間毎)
小泉八雲記念館	記念館	16	18	△2	45,967	松江駅	20	松江駅よりバス(1時間に数本)
玉造温泉ゆーゆ	温泉/温泉浴場	13	14	△1	125,231	松江駅	34	松江駅よりバス(約1時間毎)
島根県立美術館	美術館	9	9	0	261,299	松江駅	17	松江駅からバス(1時間に数本)
松江フォーゲルパーク	植物園	12	12	0	166,994	松江駅	60	松江駅からバス、松江しんじ湖温泉駅から鉄道(約1時間毎)
美保神社	神社	7	5	+2	363,894	松江駅	149	境港駅からコミュニティバス(約1時間毎)
熊野大社	寺院	15	10	+5	242,000	松江駅	40	一畑バスからコミュニティバスへの乗継(時刻注意)

5. 事例調査(青森県・島根県)

検索ランキングと実績ランキングの相違(島根県 浜田エリア・益田エリア)

・交通拠点や近隣観光施設からのアクセス性は高くないものの、レンタカーや自家用車を利用する来訪者や、神社については地元住民による参拝が多いと考えられる。

【浜田エリア】

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、順位差:実績の順位から検索の順位を引いたもの。

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
しまね海洋館アクアス	水族館	5	3	+2	525,760	益田駅	57	益田駅から特急、浜田駅からバスもあり(約1時間毎)

【益田エリア】

観光施設名称	カテゴリ	検索	実績	順位差	観光入込客数(人)	拠点	公共交通所要時間	公共交通アクセス状況
太鼓谷稲成神社	神社	14	4	+10	506,700	益田駅	55	益田駅から鉄道(約2時間毎)、他バスあり(1日5往復)

5. 事例調査(青森県・島根県)

青森県 東青エリア(青森市中心部) | 観光施設間の公共交通アクセス状況

- ・交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が高く、順位差がプラスとなっている観光施設が多い。(検索ランク<実績ランク)
- ・八甲田ロープウェーは、路線バスの運行本数が少なく、周遊交通のサービス水準が低いことが、順位差がマイナスとなった要因と考えられる。



東青エリアの観光施設 ©Google

観光施設名称	検索	実績	観光入込客数
浅虫温泉	25	4(+21)	260,889人
浅虫水族館	20	7(+13)	235,487人
青森県観光物産館アスパム	15	2(+13)	864,609人
ねぶたの家ワ・ラッセ	11	3(+8)	359,798人
三内丸山遺跡	21	9(+12)	185,572人
青森県立美術館	9	14(Δ5)	135,064人
八甲田ロープウェー	6	8(Δ2)	200,552人

鉄道(またはバス)を利用し
約12分でアクセス可能

両施設とも青森駅徒歩圏内

バス停留所が隣接

…アクセスが容易な施設なし

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、()内は順位差

※青森県立美術館は順位差はマイナスだが、観光入込客数は周辺の三内丸山遺跡と同程度。当施設は展示会の内容により入込数の増減が大きい。

観光施設間の公共交通アクセス状況

発	着	道路距離 (km)	通年(または冬季運休期間を除く期間)					
			所要時間	平均 移動速度	費用	乗換回数	交通モード	運行頻度 (/h)
浅虫水族館	浅虫温泉	0.95	12	-	-	-	徒歩のみ	-
物産館アスパム		15.30	38	24.2	460	0	鉄道	1-3本
ねぶたの家ワ・ラッセ		15.70	27	34.9	460	1	鉄道	1-3本
三内丸山遺跡		21.90	105	12.5	980	1	バス	1本
青森県立美術館		21.60	103	12.6	950	1	バス	1本
八甲田ロープウェー	浅虫水族館	32.40	116	16.8	1750	1	鉄道→バス	1日3往復
物産館アスパム		17.00	46	22.2	620	1	バス→鉄道	1本
ねぶたの家ワ・ラッセ		17.40	37	28.2	460	0	鉄道	1-3本
三内丸山遺跡		22.20	86	15.5	1060	1	バス	1本
青森県立美術館		26.20	76	20.7	1050	1	バス	1本
八甲田ロープウェー	物産館アスパム	34.10	125	16.4	1750	1	鉄道→バス	1日3往復
ねぶたの家ワ・ラッセ		0.55	9	-	-	-	徒歩のみ	-
三内丸山遺跡		6.10	28	13.1	280	0	バス	1本
青森県立美術館		5.10	26	11.8	250	0	バス	1本
八甲田ロープウェー		22.50	102	13.2	1290	0	バス	1日3往復
三内丸山遺跡	ねぶたの家ワ・ラッセ	5.70	30	11.4	310	0	バス	1本
青森県立美術館		5.40	27	12.0	280	0	バス	1本
八甲田ロープウェー		22.70	102	13.4	1290	0	バス	1日3往復
青森県立美術館		0.45	6	-	-	-	徒歩のみ	-
八甲田ロープウェー		25.40	93	16.4	1590	1	バス	1日3往復
青森県立美術館	八甲田ロープウェー	25.20	88	17.2	1590	1	バス	1日3往復

5. 事例調査(青森県・島根県)

青森県 下北エリア | 観光施設間の公共交通アクセス状況

- ・交通拠点からのアクセス性や、同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が低く、順位差がマイナスとなっている観光施設が多い。(検索ランク>実績ランク)
- ・恐山、大間崎、佐井港(仏ヶ浦遊覧船)へは、それぞれ下北駅周辺よりバスが運行されているが、バスを乗り継いで各観光施設を周遊することはダイヤ上難しい。また、尻屋崎灯台へのバスは廃止され、予約型タクシー(1日3便)のみとなっている。

観光施設名称	検索	実績	観光入込客数	アクセス
恐山菩提寺	1	11(Δ10)	152,313人	下北駅よりバス1日4往復
大間崎	4	16(Δ12)	106,535人	下北駅よりバス1日5往復
尻屋崎灯台	18	18(0)	78,800人	旧むつバスターミナルから予約型タクシー
佐井港(仏ヶ浦遊覧船)	13	20(Δ7)	64,295人	下北駅よりバス1日5往復

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、()内は順位差
 ※尻屋崎灯台は検索・実績ともに19位で変化なし

観光施設間の公共交通アクセス状況

発	着	道路距離 (km)	通年(または冬季運休期間を除く期間)					
			所要時間	平均 移動速度	費用	乗換回数	交通モード	運行頻度
大間崎	恐山菩提寺	53.60	129	24.9	2660	1	バス	1日4往復
尻屋埼灯台		62.90	98	38.5	★	1	バス →予約型タクシー →徒歩30分	1日3往復
佐井港(仏ヶ浦遊覧船)		65.10	164	23.8	3130	1	バス	1日4往復
尻屋埼灯台	大間崎	71.30	159	26.9	★	1	バス →予約型タクシー →徒歩30分	1日3往復
佐井港(仏ヶ浦遊覧船)		15.60	37	25.3	770	0	バス	1日5往復
佐井港(仏ヶ浦遊覧船)	尻屋埼灯台	82.80	193	25.7	★	1	バス →予約型タクシー →徒歩30分	1日3往復

★タクシー料金により変動



5. 事例調査(青森県・島根県)

島根県 出雲エリア | 観光施設間の公共交通アクセス状況

- ・島根ワイナリーや古代出雲歴史博物館は、検索及び実績ともに1位の出雲大社へのアクセス性が高い(徒歩又はバスでアクセス可能)ことが、順位差がプラスとなった要因と考えられる。(検索ランク<実績ランク)
- ・須佐神社は他の観光施設からアクセスする場合、バスターミナルで最大50分の待ち時間が発生しており、公共交通のサービス水準の低さが、順位差がマイナスとなった要因と考えられる。



出雲エリアの観光施設©Google

観光施設名称	検索	実績	観光入込客数
出雲大社	1	1(0)	6,159,000人
出雲日御碕灯台	6	2(+4)	918,610人
島根ワイナリー	10	6(+4)	325,097人
古代出雲歴史博物館	19	13(+6)	131,109人
宍道湖	17	17(0)	48,809人
須佐神社	11	15(Δ4)	89,750人

※検索:ナビタイム検索ランク、
実績:観光入込客数ランク、()内は順位差
※宍道湖の観光入込客数は宍道湖グリーンパークの公表値

バスまたは徒歩にて出雲大社に
アクセス可能

…宍道湖グリーンパークの入込人数を参照。
湖畔は広い人数の集計が難しい。
…バスターミナルで最大50分の待ち時間

観光施設間の公共交通アクセス状況

発	着	道路距離 (km)	通年						
			所要 時間	平均 移動速度	費用	乗換 回数	交通モード	運行頻度 (/h)	備考
出雲日御碕灯台	出雲大社	9.20	38	14.5	510	0	バス	1日5往復	-
島根ワイナリー		2.20	14	9.4	210	0	バス	1日5往復	-
古代出雲歴史博物館		0.64	8	-	-	-	徒歩	-	-
須佐神社	出雲大社	26.10	115	13.6	1460	1	バス	1日3往復	出雲BT で待ち21 分
宍道湖		19.00	92	12.4	770	2	バス→鉄道	1本	-
出雲日御碕灯台		12.00	80	9.0	720	1	バス	1日4往復	-
古代出雲歴史博物館	島根ワイナリー	2.10	25	5.0	170	0	鉄道	1本	-
須佐神社		26.00	101	15.4	1340	1	バス	1日3往復	出雲BT で待ち21 分
宍道湖		16.60	53	18.8	570	1	鉄道	1本	-
出雲日御碕灯台	古代出雲 歴史博物館	9.90	40	14.9	530	0	バス	1日5往復	-
須佐神社		24.80	107	13.9	1440	1	バス	1日3往復	-
宍道湖		18.70	48	23.4	610	1	鉄道	1本	-
出雲日御碕灯台	須佐神社	33.70	165	12.3	1810	1	バス	1日3往復	出雲BT で待ち43 分
宍道湖		37.10	164	13.6	1470	2	鉄道→バス	1日3往復	電鉄出雲 市駅で待 ち50分
出雲日御碕灯台	宍道湖	28.60	97	17.7	1170	2	バス→鉄道	1日5往復	-

5. 事例調査(青森県・島根県)

島根県 安来エリア | 観光施設間の公共交通アクセス状況

- ・月山富田城跡は、標高190mの月山を中心とした形状から、体力と時間を必要とする特性がある他、足立美術館とあわせて周遊するための交通サービス水準の低さも、観光入込客数が伸びず、順位差がマイナスとなっている要因と考えられる。
- ・足立美術館は、路線バスのほか、美術館専用のシャトルバスにてアクセスが可能である。順位差はマイナスとなっているが、観光入込客数(入場者数)は他の有料施設と比較すると多いと言える。



安来エリアの観光施設 ©Google

観光施設名称	検索	実績	観光入込客数	アクセス
月山富田城跡	18	20(Δ2)	17,868人	安来駅から路線バス、最寄りバス停から徒歩18分。 足立美術館から徒歩30分。
足立美術館	2	7(Δ5)	294,149人	安来駅から路線バス、美術館シャトルバスが運行。
【参考】 古代出雲歴史博物館	19	13(+6)	131,109人	※有料施設比較
【参考】 島根県立美術館	9	9(0)	261,299人	※有料施設比較

※検索:ナビタイム検索ランク、実績:観光入込客数ランク、()内は順位差

観光施設間の公共交通アクセス状況

発	着	道路距離 (km)	通年						
			所要時間	平均 移動速度	費用	乗換回数	交通モード	運行頻度	備考
足立美術館	月山富田城跡	3.50	27	7.8	200	0	バス→徒歩	1日5便	バス以外ではタクシーまたは徒歩30分

6. 検討結果・考察

検討結果・考察 特定のエリア内における、観光施設から観光施設への公共交通のアクセス状況

データの制約を前提として、以下のことがわかった。

- 同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が高く、検索ランクと実績ランクの順位差がプラスとなっている観光施設が確認できた。(検索ランク<実績ランク)
 - ➡ 周辺に観光施設が存在し、公共交通による観光施設間の移動がしやすい場合、利用者数が増える可能性がある。
- 同一エリア内の観光施設との周遊交通のサービス水準が低く、検索ランクと実績ランクの順位差がマイナスとなっている観光施設が確認できた。(検索ランク>実績ランク)
 - ➡ 周辺に観光施設が存在しない、または存在しても公共交通による観光施設間の移動が困難な場合、利用者数が少なくなる可能性がある。

同一エリア内の観光施設が併せて選択されにくいエリアでは、公共交通による観光施設間の周遊性が低い。

【まとめ】

観光施設間の交通サービスによる周遊性を高めることは、エリア内全体の観光施設の利用者数の底上げにつながる可能性がある。

これより、とりまとめⅢ. 2. (5)(6)等も踏まえて、観光施設間の周遊を可能とする地域観光交通のサービスの質・運行経路・ダイヤを検討し、情報発信を徹底することが観光バリューチェーンの価値の向上のためには必要と推察される。